令和8年度全国学力・学習状況調査　和寒町の状況と今後の改善方策

（小学校数：1校 、参加児童数：15人）
（中学校数：1校 、参加生徒数：19人）

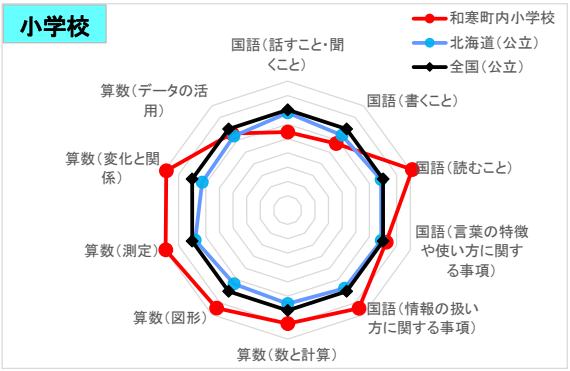
令和8年4月、和寒小学校・和寒中学校で令和8年度全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、全国の小学6年生と中学3年生を対象に学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証・改善するとともに学校における教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。児童生徒への調査の内容は、教科に関する調査（本年度は国語、算数・数学、英語）及び生活習慣や学習環境等に関する質問調査の2つです。
なお、文部科学省の「令和8年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」には「本調査の目的や調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面である」との見解が示されています。

【教科に関する調査の状況】

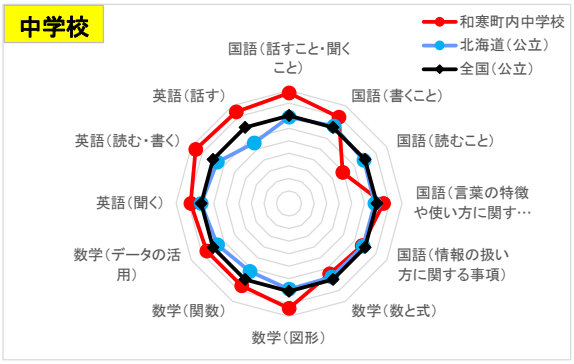
全教科の正答率が小・中学校ともに全国平均を上回りました。特に、小学校算数は全国平均を5ポイント以上上回りました。正答率の分布からは、国語と算数において正答数の少ないグループの人数が少なかったことが、全国平均を上回る結果につながったと考えられます。中学校の数学においては、いわゆる「二極化」の傾向が見られましたが、正答率の高いグループの人数が一定数いたことで平均正答率が全国平均以上になったと考えられます。なお、英語については平均正答数から平均正答率を算出しています。

平均正答率	小学校	中学校
国　語	62	66
算数・数学	63	59
英　語	／	54

小学校



中学校



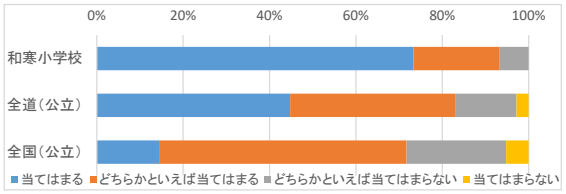
＊ 領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの〔市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出〕

【質問調査の状況】

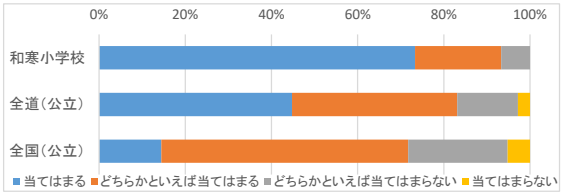
質問調査で、全国平均と比べて小・中学校ともに肯定的な回答が多かった質問は「前の学年までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の1項目でした。また、否定的な回答が多かった質問は「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」「学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の2項目でした。

小学校

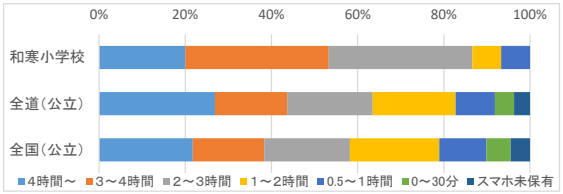
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか

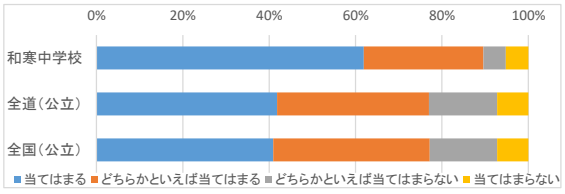


普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

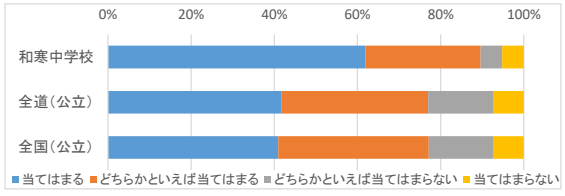


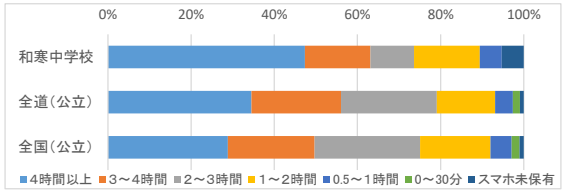
中学校

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書くことができますか





【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

学校における様々な学習活動の中でICT機器を積極的に活用したことにより、児童はタブレット端末等の操作に慣れ、調べ学習、まとめの活動、交流活動などにおいてICT機器を有効に活用することができるようになってきていると考えることができます。今後はICT機器の活用能力の更なる向上を図るとともに「スクリーンタイム」（スマホ、タブレット、PC、テレビ、ゲーム機などの画面を見ている時間）の長さなどについて検討する必要があると考えられます。

中学校

学校における様々な学習活動の中でICT機器を積極的に活用したことにより、生徒はタブレット端末等の操作技能を高め、調べ学習、まとめの活動、交流活動などにおいてICT機器を有効に活用することができるようになってきたと考えることができます。今後はICT機器の活用能力のさらなる向上を図るとともに「スクリーンタイム」（スマホ、タブレット、PC、テレビ、ゲーム機などの画面を見ている時間）の長さなどについて検討する必要があると考えられます。

【和寒町の学力向上策】

○ 未定着部分の学び直しと、授業改善や学習サポートなどの指導体制・指導方法の工夫による基礎学力の向上
○ ICT機器を活用した効率的・効果的な学習活動の推進による児童生徒の資質能力の向上
○ 学校と家庭が連携した生活習慣・学習習慣のさらなる改善

【Webページ】